## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	上野陽一著 産業能率概論
Sub Title	
Author	藤林, 敬三
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1928
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.22, No.3 (1928. 3) ,p.460(168)- 462(170)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新刊紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19280301-0168

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

じたであらう 著者にして卷末に索引を附するの勞を惜まれざり しならんには、何人も遙かに大なる便益を感

定價金五圓五十錢) の宏大なる計畵の完成の一日も早からん事を希望して止まない。(昭和二年十月發行) 「經濟心理學」、廣告心理學」及び「敎育心理學」の四卷の計畫あり、吾々は此の機に際して著者の此 ほ「性能研究」、「作業心理學」及び「軍事心理學」の三卷は軈て公刊せらるべく、マ最後に本書は著者の計畫になる「應用心理學研究」の第三卷として刊行せられ 又「應用 しものであつてい 教育研究會、 心理學概論」

(昭和三年二月十二日)

膝 林 敬 三

## 上野陽一者產業能率概論

のである。 本書は一咋年夏、 部の 人 人 著々者 の間に配力 の間に配布 銮 一講座に たるものを最近再び一般讀者於て為したる講義から成り、 ものを最近再び一般讀者のために公刊せられたるも 既に『産業能率講義要領』と

比ヲ 者の見解に従へ 8 本書は總論、 富ヲ作ル 史論に於て 製作期間 コトデアル」。(四、五頁)而して産業能率の直接目的とする所メルコト」、或は「最少限度ノ資本・物質・知識・勞働ヲ費ャシ、 ば、 一率研究の發展を叙述す。而して本書の骨子をなすは標準論と組識論とである。(論)標準論、組織論及び結論の五部から成る。著者は總論に於て産業能率の資 産業能率とは「産業ノタメニ費ストコロト、ソノ結果トラ比ベラ、ナルベ ノ短縮」であり、(一一〇頁)其の結果は生産費の減少である。(一二七頁)産業 五頁)而して産業能率の直接目的とする所は製品の「品質ノ向上」 住産ニョッラナルベク大 ク 意義

學を基 確定せら が標準化せらるゝこと能率の斯くの如き目的 低下 礎と せしめんとする努力の内に實現せらる。 結局本著者に於て見るが如く する生産の人 と結果と 必要であ 的要素に關する一應用科學中に解決せらるべきものなりと做す評者は、 の見解に於ては結局産業能率の增進は製造原費をして其の豫定標準以下 ため 私經濟的考慮に歸着する。 して是等の標準化と其の維持とが質現せらるゝ 一の確定が一 先づ生産上 凡で最近の發達にかりる科學的管理法に發する能率 可能となり、 更に製造原費(原價)の豫定標準が るべきものなりと做す評者は、直乍然、能率論を以て心理學、生理 物的要素に 關する種 ならばい 17 0) 方面

ちに著者の能率 必要である。 組織論に至つて著者は右の 者に 其は 兎も 重きを置き標準化に必要なる研究の方法及び結果の叙述が本書の大部分を占めてゐる。 あれ かくて著者 念に 既に打ち樹てられたる標準は一定の方法、手續、 し得ない。 標準化を事質に可能ならしめるために、適當なる工場組織の必要を説き、 (本誌第二十一卷第十號揭載拙稿參考)

分任組織として Taylor の functional foremanship を是認する。

理法に關しては最近吾國に於ても國松豐氏の「科學的管理法綱要」(大正十五年) 系統付けられてゐる點に特色がある。 の救濟に就いての用意を持たるうに對して、 ある。(結論)唯だ、 般に行はると著者自ら記するが如く、(七頁)本書は正に科學的管理法概論である。 |科學的研究の要目と見做さるくものを傳くる(第二編) に對して、本書は標準論を中心に 題して「産業能率概論」と云ふも、 於ける科學的管理法が科學から温情への傾向を辿れるに反し 乍然 本著者は遙かに熱心に Taylorism 本來の精神を傳へて 國松氏が科學的管理法に對する從來の非難に對して其 吾國に於では科學的管理と云ふより がある。 は「能率」なる 此の書が

第二十二卷 (四六一) 新刊紹介

第三號 一六九

否やは評者の甚だ疑問とする所である。 國に於ては温情から科學への傾向を認め、 七頁)乍然、 能率問題の事實上の解決が温情主義に於て可能なるや否や、又萬全なるやすへの傾向を認め、温情主義の背後に加ふるに科學的研究を以つてせんとす

同文館、定價金一圓七十錢) 簡短なる解題が附せられたるが故に、 書は一入門書の役目を果すであらう。尚ほ本書の卷末には内外の參考書が分類集録せられ、各書に 易に説明せられたるものであり、 に説明せられたるものであり、又科學的管理法に關する單行著作の比較的少なき吾國に於ては本本書は僅かに菊版一六〇頁餘の小冊ではあるが、科學的管理法の概要を著者自らの體系に於て平 初學者に對しては甚だ好都合である。 (昭和二年十二月發行、

(昭和三年二月十二日)

\_\_\_\_\_

## 前 號 (第二十二卷) 目 次

④歴史と理想

瀧木

誠一

●分業組織でしての經營概念

向非 鹿松

●家計調査の結果

高城仙次郎

○古代社會に於ける經濟生活發達の

史的經過に就て

山本勝太郎

①Hurgeon の價値論に關する Gaëtan

の批評に就て

Pirou

永 田 清

> ケケ冊 年年定 分分價 金金金 五貳五 圓圓 四九拾 拾拾 錢錢錢 郵 稅

> > 共

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛

●營業に關する用件は發賣元宛

●原稿締切期日は發行の前月十日限

昭和 三 年三月一日簽 行昭和三年二月廿九日印刷納本 毎月 囘 日發行

誌雜會學田三 號三第一卷二十二第 即 eh 發編 中 刷 者 金 子 鐵 五 郎 東京市 宏 區 新町 五丁日四十二番地 俊 行 者 江 田 範 保 開 報 工 田 範 保 刷所金子活版所東京市赤坂區新町五丁目四十二番地

●尚は本誌は全國各市雑誌店にて販賣す 發賣元 丸善株式會社三田出張所東京市芝區三田貳丁目壹番地

發 行

慶應義塾內 理 財 學 會